



農家経営をカイゼンする パソコン用簿記ソフトの開発



普及員による農家への入力作業の指導

No	日付	借方	貸方	金額	備考	数量
677	851231	70 試験料費	37 買掛金	275000		
677	851231	70 試験料費	37 買掛金	187000		
678	851231	82 農産物期首棚	21 仕掛品	7887000		
678	851231	21 仕掛品	56 農産物期末棚	7887000		
680	851231	25 肥料農業等	57 他期末棚卸高	85400		
681	851231	93 他期首棚卸高	25 肥料農業等			
682	851231	93 他期首棚卸高	26 試験料			
683	851231	26 試験料	57 他期末棚卸高			

借方	勘定科目	貸方
788,585	11 現金	
1,738,504	12 農協預金	
980,000	13 その他預金	
5,210,001	14 定期預金	
2,534,672	15 売掛金	
4,500,000	17 郵定期預金	
3,914,085	19 事業主貸	
7,887,000	21 仕掛品	
85,400	25 肥料農業等	
883,500	28 試験料	
3,842,112	29 運搬運搬具	
4,845,504	30 機械器具	
29,797,196	31 建物施設	
	当期純利益	4,848,186
88,794,548	合計	88,794,548

「決定版簿記」の画面

（普及指導部、企画情報部開発）

背景

試験場は、経営改善指導支援のために、紙ベースで行っていた「あいち式簿記」の様式を基に迅速に処理できるオフィスコンピュータ用簿記ソフトを開発しました（1979年）。

その後、1985年から1990年頃、農家にパソコン導入ブームが起こり、農業経営管理ソフトが求められたものの、当時の市販ソフトは高価で使いにくいものが多かったため、先に開発したオフィスコンピュータ用簿記ソフトをパソコン用に移植し、「決定版簿記」を開発しました。

成果の内容

「決定版簿記」は操作性が良く、それまで紙ベースで煩雑だった簿記処理を迅速に行うことが可能となり、普及指導の現場で農家の経営改善指導に活用されました。

愛知県農業への貢献

「決定版簿記」は、全普及課が普及指導において、農家の経営改善や経営能力向上のために活用し、2000年頃には、改良版（Windows版）を約700戸の農家が利用していました。

（企画普及部）